

東京大学公共政策大学院  
の取り組み

非常勤講師  
菊地 耕一

# 東京大学公共政策大学院

法学政治学研究科と経済学研究科が連携して設立した教育組織（公共政策学教育部）

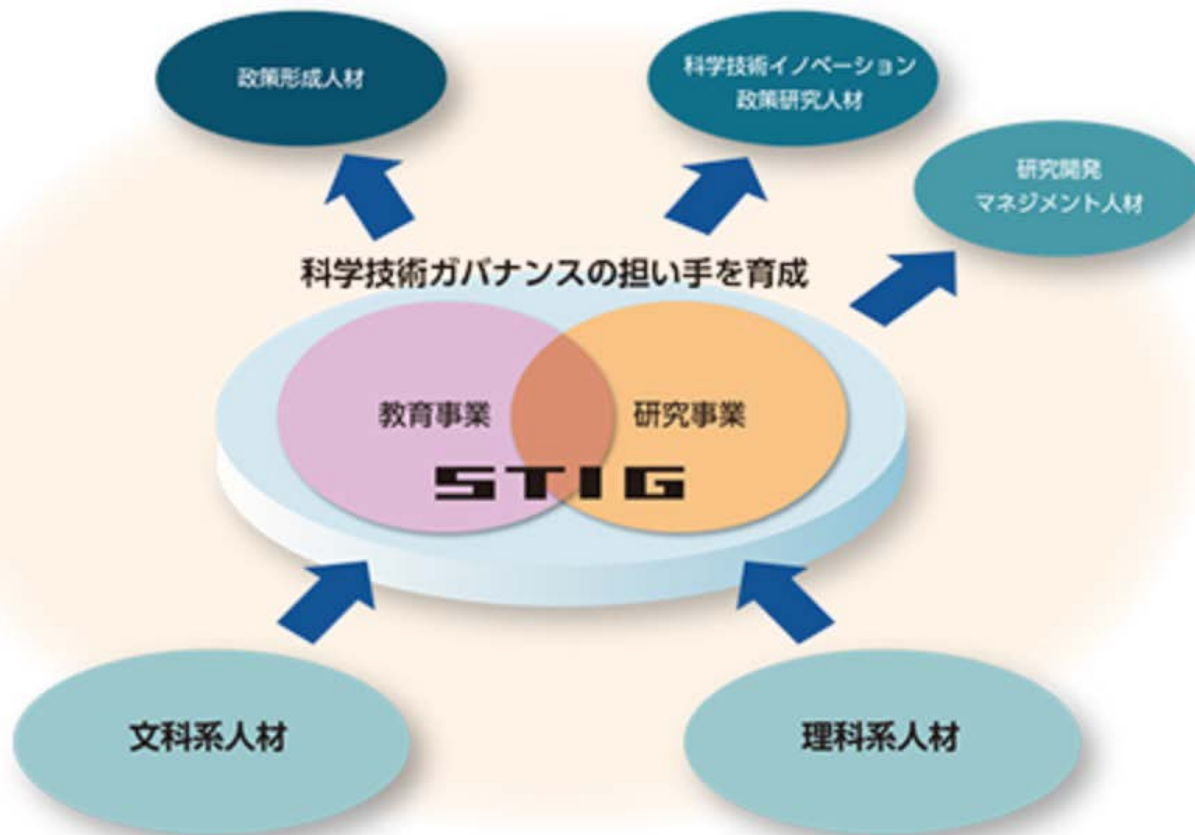
Graduate School of Public Policy (GraSPP)



東京大学本郷キャンパス  
国際学術総合研究棟

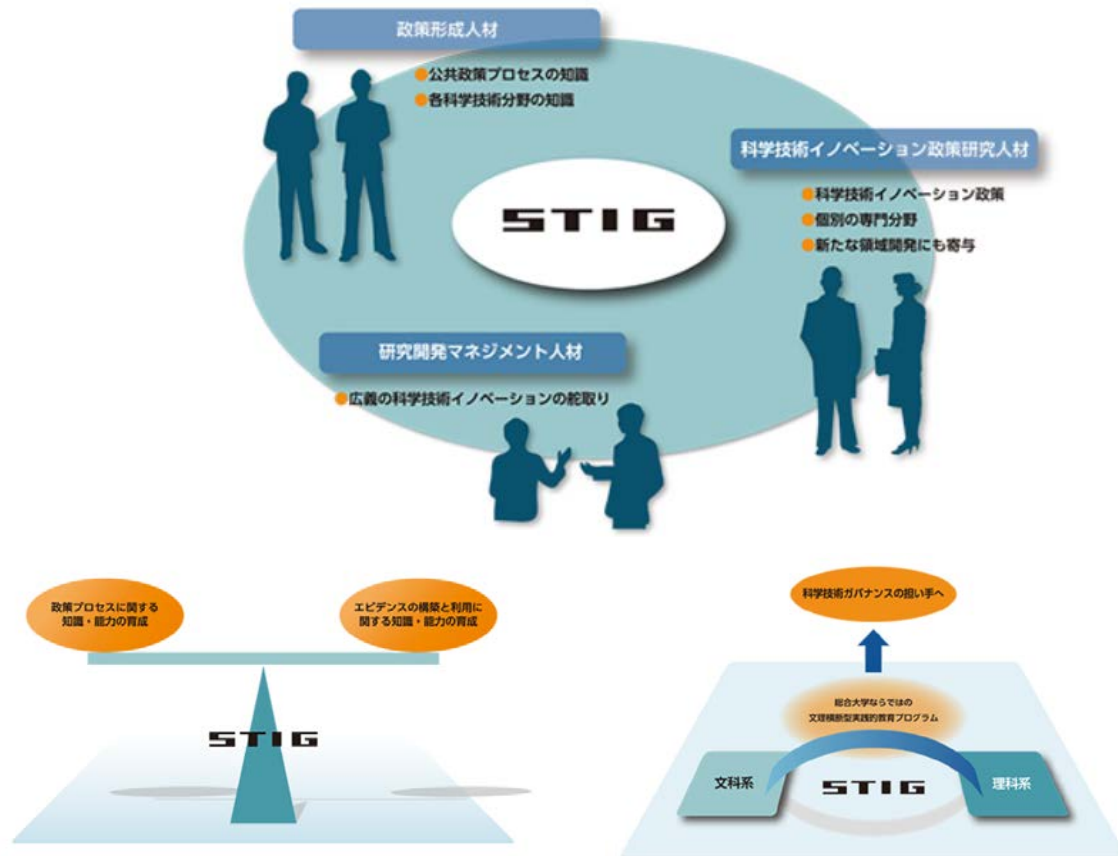
## 専門職学位過程（公共政策学専攻）の概要

- 人材育成：国際的視野のもとで現代社会の直面する課題を発見し、課題の解決に必要な政策と制度を構想する力を持ち、またコミュニケーションと合意形成の能力にも秀でた、国家機関・地方自治体の公務員、国際組織やNGOの職員、シンクタンクに勤めるエコノミストや政策アナリストなど、時代の要請に応える政策実務家を養成
- コース：法政策、公共管理、国際公共政策、経済政策、国際プログラムの5つのコース
- 修了生の進路（2016年度）：
  - 官公庁 29名
  - 金融機関 18名
  - コンサルティング 16名
  - マスメディア 1名
  - 情報通信 2名
  - 製造業 3名
  - 商社 2名
  - その他 21名



# Science, Technology, and Innovation Governance: STIG

- 教育事業  
部局横断型教育プログラム 科学技術イノベーション政策の科学 (STIG) 教育プログラム
- 研究事業

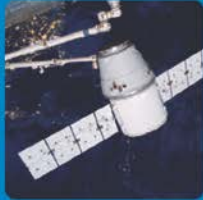


## STIG教育事業

- 対象：東京大学の大学院生（修士課程・博士課程）、所属研究科は問わない
- 人材育成：大学院レベルにおける文科系あるいは理科系の専門的教育を基盤として、科学技術イノベーション政策の作成や実施に必要なエビデンス構築手法や各分野における科学技術イノベーション政策プロセスに関する知識を身につけた科学技術ガバナンスの担い手となる人材を育成
  - ✓ 政策形成人材：中央省庁や調査研究機関等において広義の科学技術イノベーションに関わる政策形成やそのために必要なエビデンスの構築に携わる人材
  - ✓ 科学技術イノベーション政策研究人材：科学技術イノベーション政策を研究する研究人材
  - ✓ 研究開発マネジメント人材：研究開発機関や企業等において広義の科学技術イノベーションの舵取りを行う人材

# 科学技術イノベーション政策の科学教育プログラム

University-wide Graduate Education Program  
Science, Technology, and Innovation Governance (STIG) Education Program  
The University of Tokyo



## 【2019年度 履修登録者募集】

政策形成人材  
科学技術イノベーション政策研究人材  
研究開発マネジメント人材



### Call for Students 2019

Policy-making specialists  
R&D managers  
STI policy researchers

### プログラム概要

本プログラムは、必修科目、基礎科目、専門科目、分野別研究科目によって構成され、関連する研究科・専攻の科目として開講します。共同科目では、演習形式で様々な知識の総合的活用の方法を身につける「科学技術イノベーション政策研究」を開講。基礎科目では(a)政策プロセス・制度論、(b)エビデンス構築手法論に2種開講。専門科目では、基礎科目に関して展開・応用を図る科目を開講します。また、分野ごとの文脈に関する知識を提供し、個別分野における実践的能力を高めるための分野別研究科目の履修を推奨しています。

### 登録申請方法

- プログラムの登録は、「科学技術イノベーション政策の科学教育プログラム登録申請書」に記入し、本教育プログラム事務局へ提出してください。
- 科目の履修は、所属する研究科等の定める履修手続き及び方法に従い、研究科等の定める期日までに履修してください。



STIG education program is aimed at fostering human resources who can transcend the conventional boundaries between the humanities and the sciences, boldly address new academic issues across fields, think flexibly, and lead science, technology and innovation policy.

To register for this program, fill in the necessary items on the Registration Form and submit it to STIG Office (Easy web application form is also available at STIG website (<http://stig.pp.u-tokyo.ac.jp/>)).

Courses should be officially registered in accordance with the completion procedures and methods specified by the graduate school or other institution where you belong to, by due date stipulated by your graduate school.

WEBから登録申請 (より詳細)

<http://stig.pp.u-tokyo.ac.jp/>

\*STIGプログラムの登録・履修は、東京大学大学院生(修士・博士)が対象です。  
\*STIGプログラムに登録したいに所属する大学院のホームページの案内もご確認ください。

科学技術ガバナンスの担い手が創る、明日からの政策



東京大学大学院横断型教育プログラム 科学技術イノベーション政策の科学教育プログラム

【問い合わせ先】 科学技術イノベーション政策の科学(STIG)事務局(国分寺南館5研究棟11F 1119)  
STIG@pp.u-tokyo.ac.jp <http://stig.pp.u-tokyo.ac.jp/>

## 【講座】 Space Development and Public Policy

- 主宰：城山英明、中須賀真一
- 講師：菊地耕一、永井雄一郎、高屋友里、水野素子、政府・宇宙機関等の専門家

■ 言語：英語

■ 2019年度講座概要：

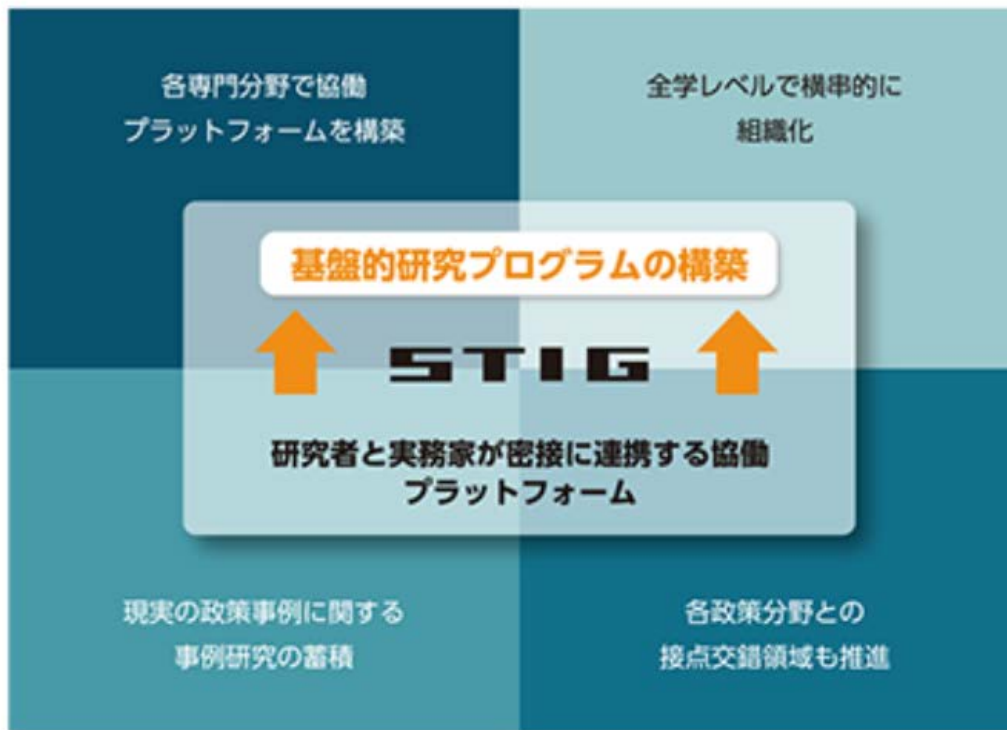
- ✓ テーマ：Governance of Space Activities  
サブテーマ：Roles of Space Agencies  
Space Resources Exploration  
Space Traffic Management

✓ 履修生：14名

公共政策：8名、工学：5名、医学：1名

男性：8名、女性：6名

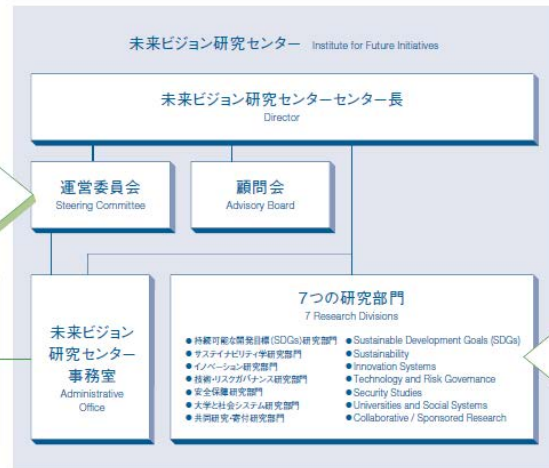
留学生：9名



## STIG研究事業

- 理科系各分野における研究開発活動も踏まえ、分野別文理横断型の研究者と実務家が密接に連携する協働プラットフォーム
  - ✓ 各専門分野（政策過程、経済分析、科学技術システム工学）で、協働プラットフォームを構築
  - ✓ 現実の政策事例に関する事例研究を蓄積 → 日本の現実の文脈に即した科学技術イノベーション政策に関する教育活動の基礎
  - ✓ 狭義の科学技術イノベーション政策領域に限定されることなく、具体的な各政策分野との接点・交錯領域についても、積極的に推進
  - ✓ 従来個別に行われてきた科学技術イノベーション政策に関する研究活動を、全学レベルで横串的に組織化
- 協働プラットフォームと連携し、研究等の成果を踏まえ、人材育成プログラム（主に分野別研究科目）を構築

持続可能な未来社会の創造  
Creating a Sustainable Future Society



## 未来ビジョン研究センター Institute for Future Innovation: IFI

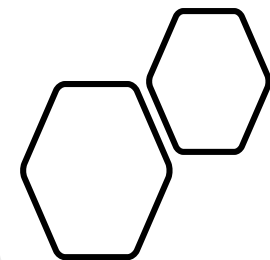
- 東京大学の持続可能な開発目標 (SDGs) に向けた取り組みの枠組みである未来社会協創推進本部 (Future Society Initiative, FSI) の中核的組織として位置付け
- 持続可能な未来社会を創造するために、未来社会の諸課題に関する政策・社会提言ならびにそのための社会連携研究を実施
- また未来社会に関連する大学の知見を統合する国際ネットワーク・ハブおよび産官学民との協創のプラットフォームとしての役割を果たし、研究に基づいた未来社会を実現する選択を示すとともに、それを担う人材の育成にも貢献

# Governance of Emerging Technologies

## - Framing Benefits and Risks of Biotech and AI:

国際シンポジウム | 新興テクノロジーのガバナンス

### SYMPOSIUM IN UTOKYO 2020



#### Overview

2017年のダボス会議の報告書の新興技術に関する調査で、社会にもたらす正のメリット、負のメリットともに上位に位置づけられたのはAIとバイオであった。両技術は、より良いガバナンスが要されるといっても上位に挙げられた。AIとバイオは、例えば民間部門の役割も大きいといった点などで共通性を有する一方、技術特有の違いもある。本シンポジウムは、社会的インパクトが大きいと認識されているこの二つの新興技術のガバナンスについて、多様な側面から考える。

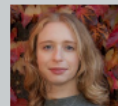
2020年 **2月1日** (土) 14時~16時40分  
東京大学 弥生キャンパス  
弥生講堂アネックス セイホクギャラリー

#### Program

Moderator : Dr. Makiko Matsuo, GraSPP, UTokyo

- |             |  |
|-------------|--|
| 14:00       | <b>Opening Remark</b><br>Prof. Hideaki Shiroyama, GraSPP, UTokyo   |
| 14:05-14:55 | <b>Keynote 1</b><br>Prof. Jeroen van den Hoven<br>Ethics and Technology, Delft University of Technology<br>"Global Governance and ethics of AI"  |
| 14:55-15:45 | <b>Keynote 2</b><br>Prof. Phil Macnaghten<br>Technology and International Development, Wageningen University<br>"Developing a framework for responsible innovation"  |
| 15:45-16:25 | <b>Comments from invited speakers</b><br>Dr. Larisa Rudenko<br>Program on Emerging Technologies, Massachusetts Institute of Technology<br>Dr. Lauren Holt<br>Centre for the Study of Existential Risk (CSER), University of Cambridge<br>Dr. Denis Stukal<br>Data Analytics, School of Social and Political Sciences, University of Sydney<br>Prof. Heng Yee Kuang<br>GraSPP, UTokyo |
| 16:25-16:40 | <b>Wrap up and Closing</b><br>Moderator: Prof. Hideaki Shiroyama, GraSPP, UTokyo   |

※プログラムは予告なしに変更となることがあります



Registration Form  
お申し込みは  
こちらから



Contact: STIG@pp.u-Tokyo.ac.jp

# IFI-STIGの 取り組みの一例





10月、国際宇宙会議（IAC）のグローバル・ネットワークング・フォーラム（GNF）イベントとして、“Governance of Space Activities – Comparative Study on National Space Policy and Law”を開催



11月、アジア太平洋地域宇宙機関会議（APRSAF）宇宙技術WG特別セッションとして、宇宙法政策ワークショップ“Challenges to Academic Space Programs: The Function of Capacity-Building in Promoting International Space Cooperation”を開催

# 東京大学宇宙政策研究イニシアティブ (UT/SPI)

2019年度のイベント

# JAXAとの共同研究

- 2010年度、GraSPPとJAXAの間で、宇宙政策に関する共同研究契約を締結。
- 2013～2015年度、共同研究第二期として、教育活動として「宇宙開発と公共政策」講座の運営、公開ワークショップ、研究会の開催等を通じた宇宙政策の研究を推進。
  - ✓ 有識者による「宇宙ガバナンス研究会」を開催。
    - 準天頂衛星計画（立上げ時）のガバナンス
    - アジア太平洋宇宙外交
    - 日本と主要国の宇宙法政策・ガバナンスの国際比較
    - 宇宙政策に関する日、米、欧、ロ、アジアの基礎情報の整理
  - ✓ APRSAFサイドイベント／スペシャルセッションを開催。
    - Space Policy & Governance Workshop “Learning from the History of Space Policy” (2014)
    - Workshop on “The Future of Space Activities in the Asia Pacific Region” (2015)
    - International Workshop on “Building Regional Space Policy Cooperation in Asia” (2016)
    - Workshop on “Space Policy Perspectives for ‘Governance in Space’” (2017)
    - Academic Workshop on “Space Policy and Law Perspectives for Space Debris Management” (2018)
    - Space Policy and Law Workshop “Challenges to Academic Space Programs: The Function of Capacity-Building in Promoting International Space Cooperation” (2019)

# UT/SPIと国際ネットワーク

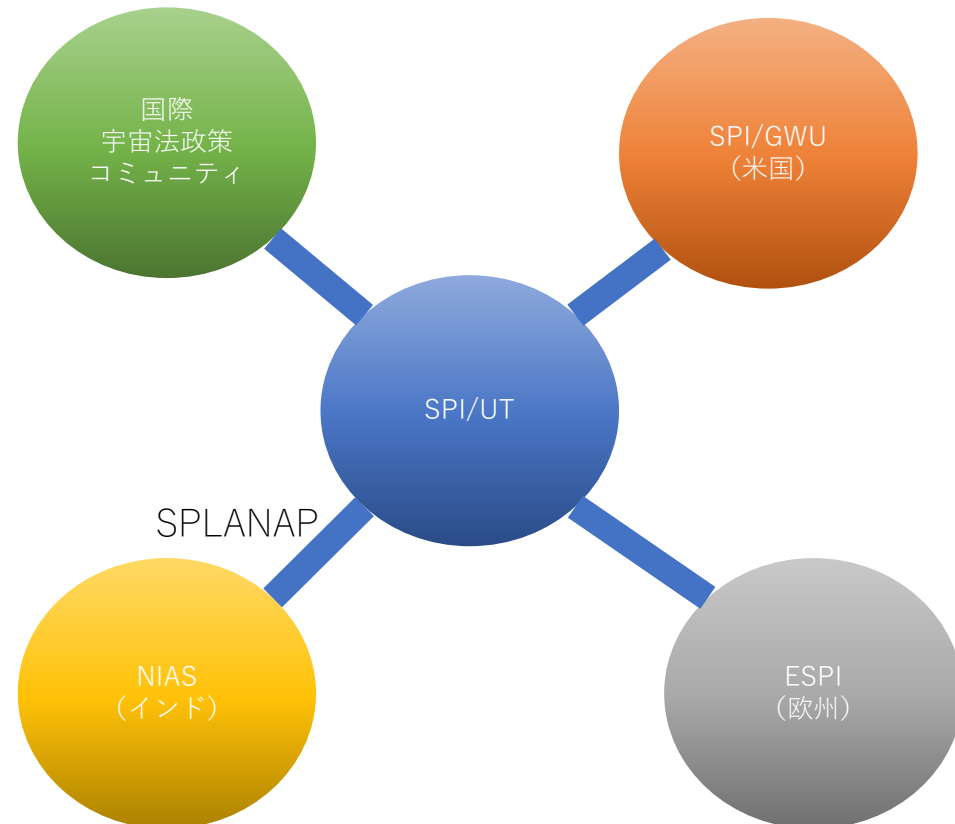
## GraSPPの国際ネットワーク

## UT/SPIの国際ネットワーク

### 公共政策大学院の協定校

協定校	交換留学	ダブルディグリー
*コロンビア大学国際公共政策大学院(SIPA)	N/A	○
*シンガポール国立大学リークワンユー公共政策大学院(LKY-SPP)	○	○
*パリ政治学院(Sciences Po・Paris)	○	○
*ヘルティースクールオブガバナンス(HSoG)	○	○
*ジェトゥリオ・ヴァルガス財団サンパウロ・ビジネススクール(FGV-EAESP)	○	N/A
*ロンドンスクールオブエコノミクス(LSE)	N/A	○
カリフォルニア大学サンディエゴ校国際政策・戦略研究大学院(UCSD-GPS)	○	N/A
ハイデルベルク大学クラスターオブエクセレンス	○	N/A
HEC経営大学院	○	N/A
国際連合大学サステイナビリティ高等研究所(UNU-IAS:東京)	○	N/A
オーストラリア国立大学(ANU)クロフォード公共政策大学院	TBC	○
カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)ラスキン公共政策大学院	○	N/A
**ソウル大学校国際大学院(SNU-GSIS)	○	○
**北京大学国際関係学院(PKU-SIS)	○	○

\* GPPN    \*\* CAMPUS Asia



# 「月基地建設及び宇宙資源活用に向けた法政策戦略」ワークショップ

International Workshop on "Space Law and Policy Strategies for Building Moon Bases and Exploiting Its Space Natural Resources"

2018年3月4日(日) 10:00~18:30(開場9:30)

東京大学 本郷キャンパス 伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール

10:00 - 18:30, Mar. 4th, 2018 (9:30- Registration)

Ita Hall, Ito International Research Center, Hongo Campus, the University of Tokyo

アポロ時代から半世紀を経て、月への基地の建設がようやく現実味を帯びている。

本ワークショップは、第2回国際宇宙探査フォーラム (ISEF) の日本開催の機会を捉え、人類の新たな挑戦に向けた法政策面の課題と方策について、国内外の有識者の講演と本学学生の研究成果発表を交えて、公開討論を行う。

共催：東京大学科学技術イノベーション政策の科学 (STIG) 教育研究ユニット、西村高等法務研究所 (NIALS) 協賛：新川平和財団 KIRIN

▶使用言語:英語 ▶日英同時通訳付

▶ワークショップ 参加費:無料(事前登録必要) ▶レセプション 参加費:1,000円(消費税込)

## Program

10:00 ~ 10:20	開会式:水野 孝子(東京大学客員教授) Event Moderator: Motoko Mizuno (Lecturer, the University of Tokyo)	10:00-10:20	Opening Remarks: Hideaki Shiyama(Professor, the University of Tokyo)
10:20 ~ 10:50	歓迎挨拶: Pascale Ehrenfreund(ESA 代表)	10:20-10:50	Congratulatory Address: Pascale Ehrenfreund(Director, ESA)
10:50 ~ 12:50	基調講演: Simonetta Di Pippo(ESA 代表)	10:50-12:50	Keynote Speech: Simonetta Di Pippo(Director, UNISPACE)
10:50 ~ 12:50	第 1 セッション: 国際宇宙探査フォーラム: 国際協力シナリオ [モデレーター: 樋口 英明(東京大学客員教授)]	10:50-12:50	Session 1: Strategies for International Cooperation / moderated by Hideaki Shiyama(the University of Tokyo)
	①「JAXA の国際宇宙探査シナリオ」 佐藤 寛樹 (JAXA 専任社員、宇宙利用政策戦略) / Sato, Kenji (JAXA, International Space Policy)		1 "JAXA's Strategy for International Space Exploration" Naoki Sato(JAXA)
	②「民間主導の探査」 樋口 英明 (space eye)		2 "ELP's Strategy for the Lunar Exploration" Jean-Jacques Tortora (Director, ESPI)
	③「ESA の Robotiki Moon Village Association」		3 "Initiatives by Private Entities" Takashi Hakamada (CEO, Ispace)
	④「本邦宇宙探査推進: 官民連携推進型モデル」 渡邊 正記(MD 代表)		4 "International Trends of Space Exploration Policy: Emerging Role of Private Sector" Masaru Matsui (Senior Researcher, MIRI)
	⑤「宇宙資源利用に関する国際法論議」 Robin J. Franz(NASA 領土法顧問)		5 "Presentation by the University of Tokyo Students" Study Group A
	⑥「NASA の Artemis 計画」 Scott Pace(NASA 宇宙政策顧問)		6 "Presentation by the University of Tokyo Students" Study Group B
	⑦「NASA の Artemis 計画」 Scott Pace(NASA 宇宙政策顧問)		7 "Presentation by the University of Tokyo Students" Study Group C
	⑧「NASA の Artemis 計画」 Scott Pace(NASA 宇宙政策顧問)		8 "Presentation by the University of Tokyo Students" Study Group D
12:50 ~ 14:00	— 昼食 —	12:50-14:00	— Lunch —
14:00 ~ 16:20	第 2 セッション: 月基地建設国際探査のリーガル戦略 [モデレーター: 水野 孝子(東京大学客員教授)]	14:00-16:20	Session 2: Legal Strategies for Developing Moon Bases under International Cooperation / moderated by Motoko Mizuno(Lecturer, the University of Tokyo)
	①「月基地建設における国際法論議」 渡邊 正記(MD 代表)		1 "International Mechanisms for Space Cooperation: Report of the COPUOS LSC Work" Satoru Aoki (JAXA)
	②「ESA の Artemis 計画」 樋口 英明 (space eye)		2 "Lessons Learned from ISB / ISA" Motoko Mizuno (Lecturer, the University of Tokyo)
	③「NASA の Artemis 計画」 Scott Pace(NASA 宇宙政策顧問)		3 "Legal Framework for a Moon Base" Robin J. Franz (Associate General Counsel for ISL, NASA)
	④「NASA の Artemis 計画」 Scott Pace(NASA 宇宙政策顧問)		4 "Presentation by the University of Tokyo Students" Study Group B
	⑤「NASA の Artemis 計画」 Scott Pace(NASA 宇宙政策顧問)		5 "Presentation by the University of Tokyo Students" Study Group C
	⑥「NASA の Artemis 計画」 Scott Pace(NASA 宇宙政策顧問)		6 "Presentation by the University of Tokyo Students" Study Group D
16:20 ~ 16:40	第 3 セッション: 宇宙資源探査のリーガル戦略 [モデレーター: 藤原 孝子(東京大学客員教授)]	16:20-16:40	Session 3: Utilization of Natural Space Resources / moderated by Hajiro Fujihira(Professor, Nihonmu & Asahi)
	①「宇宙資源探査のガバナンスレビューワーキンググループ」 Tanja Masson-Zwaan(イェン大学客員教授)		1 "Governance of Space Mining Activities and The Hague WOP" Tanja Masson-Zwaan (Lecturer UNIL)
	②「宇宙資源探査に関する国際法論議」 渡邊 正記(MD 代表)		2 "Legal Analysis of National Space Legislation for the Exploitation of Space Resources" / Var Tokyo Visiting Researcher, the University of Tokyo
	③「NASA の Artemis 計画」 Scott Pace(NASA 宇宙政策顧問)		3 "Presentation by the University of Tokyo Students" Study Group C
	④「NASA の Artemis 計画」 Scott Pace(NASA 宇宙政策顧問)		4 "Presentation by the University of Tokyo Students" Study Group D
16:40 ~ 17:00	— 休憩 —	16:40-17:00	— Coffee Break —
17:00 ~ 18:30	第 4 セッション: 宇宙探査のエコシステム [モデレーター: 水野 孝子(東京大学客員教授)]	17:00-18:30	Session 4: Ecosystem in Space Exploration for Sustainability / moderated by Akemi Mizushima(Professor, Nihonmu & Asahi) / Founder & Director, SPACETIDE Foundation
	①「宇宙探査のエコシステム」 渡邊 正記(MD 代表)		1 "Ecosystem in Space Exploration for Sustainability" / Founder & Director, SPACETIDE Foundation
	②「宇宙探査のエコシステム」 渡邊 正記(MD 代表)		2 "Ecosystem in Space Exploration for Sustainability" / Founder & Director, SPACETIDE Foundation
	③「宇宙探査のエコシステム」 渡邊 正記(MD 代表)		3 "Ecosystem in Space Exploration for Sustainability" / Founder & Director, SPACETIDE Foundation
	④「宇宙探査のエコシステム」 渡邊 正記(MD 代表)		4 "Ecosystem in Space Exploration for Sustainability" / Founder & Director, SPACETIDE Foundation
	⑤「宇宙探査のエコシステム」 渡邊 正記(MD 代表)		5 "Ecosystem in Space Exploration for Sustainability" / Founder & Director, SPACETIDE Foundation
	⑥「宇宙探査のエコシステム」 渡邊 正記(MD 代表)		6 "Ecosystem in Space Exploration for Sustainability" / Founder & Director, SPACETIDE Foundation
	⑦「宇宙探査のエコシステム」 渡邊 正記(MD 代表)		7 "Ecosystem in Space Exploration for Sustainability" / Founder & Director, SPACETIDE Foundation
	⑧「宇宙探査のエコシステム」 渡邊 正記(MD 代表)		8 "Ecosystem in Space Exploration for Sustainability" / Founder & Director, SPACETIDE Foundation
18:30 ~	閉会の辞: 水野 孝子(東京大学客員教授)	18:30	Closing Remarks: Akemi Mizushima(Professor, Nihonmu & Asahi) / Founder & Director, SPACETIDE Foundation
19:00 ~ 21:00	交流会: 第 1 セッション: 宇宙とダイバーシティ [モデレーター: 水野 孝子(東京大学客員教授)]	19:00-21:00	Networking Reception "Challenges of Diversity for Space" (The Reception is hosted by SPACETIDE Foundation)
	①「宇宙とダイバーシティ」 渡邊 正記(MD 代表)		1 "Space for Women" project / Simonetta Di Pippo(UNISPACE/WALB)
	②「宇宙とダイバーシティ」 渡邊 正記(MD 代表)		2 "Space for Women" project / Simonetta Di Pippo(UNISPACE/WALB)
	③「宇宙とダイバーシティ」 渡邊 正記(MD 代表)		3 "Space for Women" project / Simonetta Di Pippo(UNISPACE/WALB)
	④「宇宙とダイバーシティ」 渡邊 正記(MD 代表)		4 "Space for Women" project / Simonetta Di Pippo(UNISPACE/WALB)
	⑤「宇宙とダイバーシティ」 渡邊 正記(MD 代表)		5 "Space for Women" project / Simonetta Di Pippo(UNISPACE/WALB)
	⑥「宇宙とダイバーシティ」 渡邊 正記(MD 代表)		6 "Space for Women" project / Simonetta Di Pippo(UNISPACE/WALB)
	⑦「宇宙とダイバーシティ」 渡邊 正記(MD 代表)		7 "Space for Women" project / Simonetta Di Pippo(UNISPACE/WALB)
	⑧「宇宙とダイバーシティ」 渡邊 正記(MD 代表)		8 "Space for Women" project / Simonetta Di Pippo(UNISPACE/WALB)

## 【国際ワークショップ】 月基地建設及び宇宙資源活用に向けた法政策 ストラテジー

- 日時：2018年3月4日 10:00-18:30
- 共催：東京大学科学技術イノベーション政策の科学教育・研究ユニット(STIG)、西村高等法務研究所(NIALS)
- 協賛：笹川平和財団、KIRIN
- 登壇者（海外招聘）：  
Scott Pace米国家宇宙会議 (NSpC) 事務局長、  
Pascale Ehrenfreund独DLR長官、Simonetta Di Pippo国連宇宙部長、Jean-Jacques Tortora 欧州宇宙政策研究所 (ESPI) 所長、他

参加お申し込みは、右記お申し込みフォーム  
または、STIGウェブサイト  
<http://stig.pp.u-tokyo.ac.jp/> まで

参加お申し込みフォーム(日本語)  
[https://ppforum.jp/?action\\_entry=true&forum\\_id=422](https://ppforum.jp/?action_entry=true&forum_id=422)



Registration Form (English)  
[https://ppforum.jp/?action\\_entry=true&forum\\_id=423](https://ppforum.jp/?action_entry=true&forum_id=423)

